

放射線サーベイ記録

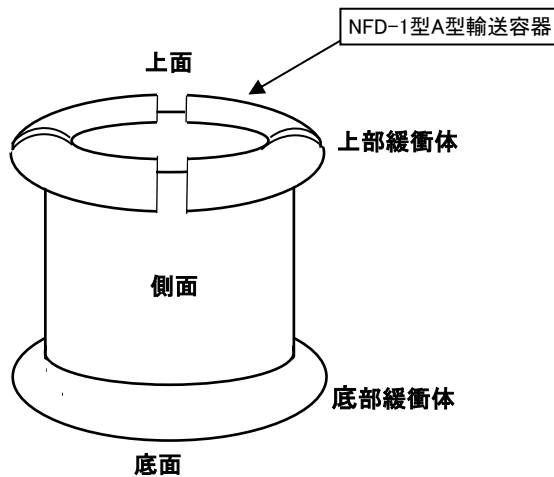
A型輸送物 1

測定目的	所外運搬に伴う輸送物サーベイ	測定項目	■線量当量率 ■表面汚染密度
測定場所	テントハウス	測定者	
測定日時	2024年11月11日 10:10 ~ 10:50	測定器	【線量当量率】 F1-SC-062 【表面汚染密度】 F1- α - β -003 換算定数(α): 1.62×10^{-2} Bq/($\text{cm}^2 \cdot \text{cpm}$) 換算定数(β): 1.58×10^{-2} Bq/($\text{cm}^2 \cdot \text{cpm}$)

線量当量率(γ) BG: 0.40 $\mu\text{Sv/h}$ 表面汚染密度(α 、 β)

表面汚染計数率BG(α): 0 cpm 検出限界値(α): 0.15 Bq/ cm^2
(β): 22 cpm (β): 0.39 Bq/ cm^2

1. 輸送物



作成日	11月11日(月)
作成者	
審査者	
承認者	

		線量当量率(γ)[$\mu\text{Sv/h}$]		表面汚染密度[Bq/ cm^2]		※()内GROSS値	
		表面	表面から1m	(α)	(β)	(α)	(β)
1-1	輸送物1 固体試料	上面	0.40	0.40	LTD	(0 cpm)	LTD (25 cpm)
1-2		上部緩衝体	0.40	0.40	LTD	(0 cpm)	LTD (39 cpm)
1-3		側面	0.40	0.40	LTD	(0 cpm)	LTD (19 cpm)
1-4		底部緩衝体	0.40	0.40	LTD	(0 cpm)	LTD (17 cpm)
1-5		底面	0.40	0.40	LTD	(0 cpm)	LTD (19 cpm)

(LTD: 検出限界値未満)

【基準】

線量当量率(γ): 輸送物表面において2mSv/h以下であること: 輸送物表面から1mにおいて100 $\mu\text{Sv/h}$ 以下であること表面汚染密度(α): 0.4Bq/ cm^2 以下であること(β): 4Bq/ cm^2 以下であること

放射線サーベイ記録

運搬車両
(輸送物積み込み後)

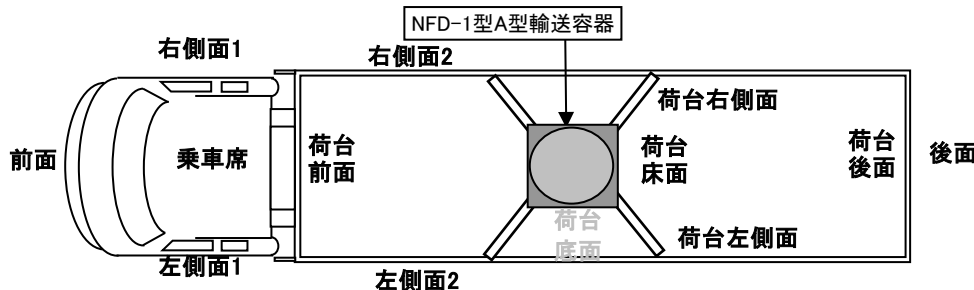
測定目的	所外運搬に伴う運搬車両サーベイ (輸送物積み込み後、1F出発前)	測定項目	■線量当量率 ■表面汚染密度
測定場所	車両スクリーニング場	測定者	
測定日時	2024年11月12日 8:20 ~ 9:10	測定器	【線量当量率】 F1-SC-062 【表面汚染密度】 (α) F1- α -075 直接法換算定数: $2.07 \times 10^{-3} \text{Bq}/(\text{cm}^2 \cdot \text{cpm})$ スミア法換算定数: $2.07 \times 10^{-2} \text{Bq}/(\text{cm}^2 \cdot \text{cpm})$ (β) F1-GMAD-472 直接法換算定数: $6.64 \times 10^{-3} \text{Bq}/(\text{cm}^2 \cdot \text{cpm})$ スミア法換算定数: $1.30 \times 10^{-2} \text{Bq}/(\text{cm}^2 \cdot \text{cpm})$ (β) F1-GMAD-223 直接法換算定数: $6.84 \times 10^{-3} \text{Bq}/(\text{cm}^2 \cdot \text{cpm})$ スミア法換算定数: $1.34 \times 10^{-2} \text{Bq}/(\text{cm}^2 \cdot \text{cpm})$

線量当量率(γ) BG: 0.40 $\mu\text{Sv/h}$

表面汚染密度

表面汚染計数率BG(α): 0 cpm 表面汚染計数率BG(β): 200 cpm
直接法検出限界値(α): 0.056 Bq/cm^2 直接法検出限界値(β): 0.68 Bq/cm^2
スミア法検出限界値(α): 0.19 Bq/cm^2 スミア法検出限界値(β): 1.3 Bq/cm^2

1. 運搬車両



	線量当量率(γ) [$\mu\text{Sv/h}$]		表面汚染密度 [Bq/cm^2] ※ () 内GROSS値			
	表面	表面から1m	測定方法	(α)	測定方法	(β)
前面	0.40	0.45	直接法(スミア法)	LTD: (0 cpm)	直接法(スミア法)	LTD: (200 cpm)
右側面1			直接法(スミア法)	LTD: (0 cpm)	直接法(スミア法)	LTD: (200 cpm)
右側面2	0.40	0.40	直接法(スミア法)	LTD: (0 cpm)	直接法(スミア法)	LTD: (200 cpm)
後面	0.40	0.40	直接法(スミア法)	LTD: (0 cpm)	直接法(スミア法)	LTD: (200 cpm)
左側面1			直接法(スミア法)	LTD: (0 cpm)	直接法(スミア法)	LTD: (200 cpm)
左側面2	0.40	0.40	直接法(スミア法)	LTD: (0 cpm)	直接法(スミア法)	LTD: (200 cpm)
荷台底面	0.40		直接法(スミア法)	LTD: (0 cpm)	直接法(スミア法)	LTD: (200 cpm)
乗車席	0.40		直接法(スミア法)	LTD: (0 cpm)	直接法(スミア法)	LTD: (200 cpm)
荷台前面			直接法(スミア法)	LTD: (0 cpm)	直接法(スミア法)	LTD: (200 cpm)
荷台右側面			直接法(スミア法)	LTD: (0 cpm)	直接法(スミア法)	LTD: (200 cpm)
荷台後面			直接法(スミア法)	LTD: (0 cpm)	直接法(スミア法)	LTD: (200 cpm)
荷台左側面			直接法(スミア法)	LTD: (0 cpm)	直接法(スミア法)	LTD: (200 cpm)
荷台床面			直接法(スミア法)	LTD: (0 cpm)	直接法(スミア法)	LTD: (200 cpm)
荷台シート外面			直接法(スミア法)	LTD: (0 cpm)	直接法(スミア法)	LTD: (200 cpm)
荷台シート内面			直接法(スミア法)	LTD: (0 cpm)	直接法(スミア法)	LTD: (200 cpm)

【基準】

線量当量率(γ): 輸送容器・運搬車両表面において
2mSv/h以下であること: 輸送容器・運搬車両表面から1mに
おいて100 $\mu\text{Sv/h}$ 以下であること: 乗車席において20 $\mu\text{Sv/h}$ 以下であること

表面汚染密度

(α): 輸送容器・運搬車両表面において0.4 Bq/cm^2 以下であること(β): 輸送容器・運搬車両表面において4 Bq/cm^2 以下であること

(LTD: 検出限界値未満)

※ 荷台床面の養生に構内

に入域するためサーベイ省略

2. 車両運転手の身体汚染検査

	表面汚染密度(β) [Bq/cm^2] ※ () 内GROSS値	
全身	LTD	(200 cpm)
足裏(靴底)	LTD	(200 cpm)

(測定方法: 直接法)

【基準】

表面汚染密度(β): 4 Bq/cm^2 以下であること

(LTD: 検出限界値未満)

作成日	11月12日(火)
作成者	
審査者	
承認者	